

12月14日(土)は、「アクティブ・サタデー」(行事・活動日)でした。高校生は「クラスマッチ」が行われました。種目はバレーボール。3セットマッチ(男子・女子・混合)で戦い、学年ごとに優勝目指して熱戦を展開しました。どの学年も通常は見られない盛り上がりとなり、充実した一日になったのでは。

中学生は「探究 Day」(平和学習まとめ)として、1学期から行っている平和学習のまとめの発表を行いました。9月、中学生全員で平和公園に行きました。1年生は平和資料館の見学、2年生は慰霊碑巡り、3年生は外国の方々へのインタビューを行いました。それらの活動を含め、グループごとにプレゼンをしました。他学年、他グループのプレゼンを通じて平和の尊さについて学び、共有することができたのではないのでしょうか。

(右は、中学3年生のプレゼン。さすが中3という内容でした。)



「吾日に吾が身を三省す」

12月20日(金)は終業式でした。以下、校長講話で話した内容です。

「12月に入ってインフルエンザに罹患する生徒が増えました。本校においても学級閉鎖の措置を取らざるを得ないクラスもありました。やっと回復したということで、本日登校出来た生徒もいたようです。また、今冬は、インフルエンザに加え、コロナウイルス、マイコプラズマなどの感染注意を言われています。変わらず手洗いやうがいなど、感染対策を適宜講じていきましょう。

さて、今年もあと10日余りとなりました。一年の経過というのはとても早いものです。年々そう思います。そう感じるのは、この一年が充実していたのか、そうでなかったのかということに関係するかとも思いますが、いずれにしても、この一年をちゃんと振り返っておく必要があるのではないのでしょうか。

4月の始業式で、『チャレンジして失敗を恐れるより、何もしないことを恐れろ!』という本田宗一郎さんの言葉を紹介しました。覚えてくれていますか? それから学校朝礼などを通じて、生徒のみなさんの成長を願って『習慣が変われば自分が変わる』など、さまざまな提案をしてきました。そうした言葉のいくつかを1号館2階、事務室前のエレベーター側の壁に、貼ってあります。気づいた人はいると思いますが、階段の上り下りに気をつけながら、あるいは足を止めて、是非とも見てください。

今日は、改めてみなさんの成長を願って、新たな言葉を紹介します。本校の建学の精神は『報恩感謝・実践』ですね。紹介する言葉は、この『報恩感謝・実践』に通ずる言葉です。『吾日に吾が身を三省す』という論語にある言葉です。これは孔子の弟子である曾子の言葉であるとされています。すでに先生方に紹介していますので、多くの

先生方も意識して取り組んでいるのではないかと思います。(下記が書かれた紙を提示)

『吾^{われ}日^ひに吾^{われ}が身^みを三^{さん}省^{せい}す』

人のためを思って真心からやったのか
友だちと交わって嘘偽りはなかったか
習得していないことを人に教えなかったか

今日一日、人としてあるべき生き方だったのか、次の三つのことを振り返り、明日に繋げよう。

『人のためを思って真心からやったのか』、関わった人、出会った人などに対して、真心を持って接することができましたか。人を想う気持ちを伝えられましたか。

『友だちと交わって嘘偽りはなかったか』、接した人の中でも、特に大切な友だちと行動を共にしたとき、嘘や偽りのある言動など、決してなかったですね。

『習得していないことを人に教えなかったか』、自分が未だ習得していないことをあたかも身につけているかのようにして、平然と教えているということはないですね。

というような『論語』の言葉です。

我々にとって適切な人間関係を構築することはとても大切なことです。なぜなら、当然の如く人は一人では生きていけないからです。家族や友人、先生など多くの人たちとの関わりによって生きる力を得ながら過ごしています。これまで以上に成長し、幸せな歩みを遂げるためには必然のこと、そして、感謝の想いを忘れぬことです。

一日を振り返って、どうであったか。是非とも実践し、明日に生かしていきましょう。

最後に、みなさん、今年もありがとうございました。どうぞ、良いお年をお迎えください。